

# 広島大学

令和6年度一般選抜(後期日程)・  
外国人留学生選抜C日程3月実施

## 解答例等

科目名:総合問題

法学部 法学科

昼間コース・夜間主コース

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

〔I〕

問1 解答例

物価を押し上げた要因は、まず、ロシアのウクライナ侵攻を発端とするエネルギー危機である。製品等の生産活動にはエネルギーが不可欠であり、エネルギー価格が上昇すれば、それに応じて製品等の価格も上昇する。そこに、世界的な天候不順なども加わり、小麦やトウモロコシのような品目も高騰し、これらの要因が重なり物価が上昇したと考えられる。さらに、欧米でエネルギー消費量が増え始めていたこと、また、各国の金融政策の相違による円安傾向も物価を押し上げた要因であると考えられる。

問2 出題の意図

前半の問は、[2]の文章を中心に、わが国の電源構成と電力需要の状況を踏まえて、火力発電等の役割を肩代わりすることとの関係で、筆者が、再生可能エネルギーの現状について、どのように評価しているかをまとめることが求められる。

後半の問は、今後のわが国でのエネルギー確保に関し、どうすればよいかの解答者の考えを述べることを求められる。問では、問題文の内容を考慮することが求められているので、問題文から今後のエネルギー確保との関係で考慮すべきと考えることを抽出し、そのことを考慮しつつ自身の考えを述べるが必要となる。

問3 解答例

福島第一原発では、核燃料デブリを冷却するなどして生じる汚染水が継続して発生している。そのような汚染水を浄化して大半の放射性物質を取り除いたものが処理水であり、それらを溜めたタンクは発電所内に1000基あまりとなっている。政府と東京電力によると、廃炉作業を進めるには、これ以上タンクが増えるとその作業の支障になることから、処理水を処理する必要がある、その方法として、海洋放出が選択された。

海洋放出が選択された理由は、処理水にはその除去が難しいトリチウムが含まれているところ、トリチウムは自然界に存在し、人体への影響も低く、国の基準よりも大幅に希釈して放出すること、また、国内外の原発で通常行われている方法で実績があり、モニタリングも確実かつ安定的に実施でき、大気放出より費用も少なく済み、風評被害についても限られた産業になると判断したからであると考えられる。

〔Ⅱ〕

問1 解答例

まず、太陽放射が透明な大気を通過し、ほとんどの太陽放射は地表で吸収され、地表を暖める。しかし、一部の太陽放射は地球と大気によって反射され、また赤外線も地表から放射される。赤外線放射の一部は大気を通過し、一部は温室効果ガスによって吸収され、あらゆる方向に再放射される。その結果、地球の表面と下層大気が暖められることで地表温度が上昇することを温室効果という。近年、地球の大気中に二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、硫黄酸化物、フロンガスなどのいわゆる温室効果ガスが急速に蓄積され、地球が熱を閉じ込める能力が非常に高まっていることによって、温室効果が強まり、地球温暖化の問題が深刻化している。

問2 解答例

最も気温が高かった10年のうち9年は2005年以降に発生しており、過去5年間は最も気温が高かった5年間である。地球規模の気候変動によって引き起こされる災害は、人命を危険にさらすだけでなく、何兆ドルもの損害をもたらす。

問3 解答例

グローカリゼーションとは、グローバル化の過程が地球規模（グローバル）に限定されず、むしろ地域（リージョナル）、国家（ナショナル）、地元（ローカル）の領域でも起こっており、地球規模と地元／国家の間の複雑な相互作用であることを示す言葉であると言える。このような現象は、環境面でのグローカリゼーションとして、2019年夏にブラジルのアマゾン地域で、牧場主や農民の多くが農業目的のために森林の多い土地を切り開くために、意図的に多くの火事を起こしたことによく現れている。アマゾンの熱帯雨林は地球の酸素の20%を生産し、世界の「肺」の役割を果たしているため、この森林火災は世界的に深刻な影響を及ぼした。このようにブラジルのアマゾンにおける森林火災というローカルな出来事が、国境を越えた汚染、地球温暖化、気候変動、種の絶滅といった、国や地域の枠に収まらないグローバルな課題を引き起こすのである。